

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・通年・A群
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・土木工学科
	担当教員	有馬 純之(Arima, Sumiyuki)
	教員室	一般科目棟3階 (TEL 42-9045)
日本史 (Japanese History)	E-Mail	t_samesi@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数		講義/履修単位/2単位
週あたりの学習時間と回数		授業 (50分) ×30回
[本科目の目標] 歴史学習を通して、先人の業績を正しく評価し、いま自分がどこに位置し、何をなすべきかを考える。日本人として、わが国の歴史に対する的確な視座と誇りをもち、バランスのとれた国際感覚を身につける。		
[本科目の位置付け] 世界史および地理の予備知識が必要である。また、本科目は社会概説Ⅰ（現代史）との関連がある。		
[学習上の留意点] 教科書の配列どおり学習することを基本としながらも、本科目の目標をふまえ、テーマを精選する。時事問題も適宜扱っていくため、配布する資料等を有効に利用する。		
[授業の内容]		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 古代国家の形成（1）	2	更新世の日本・縄文文化について理解することができる。
2. 古代国家の形成（2）	2	弥生文化と小国家の形成、大和政権と古墳文化について理解することができる。
3. 古代国家の形成（3）	3	推古朝・奈良時代・平安初期の政治、飛鳥・白鳳・天平・平安初期の各文化について理解することができる。
--- 前学期中間試験 ---	1	授業項目1～3について達成度を確認する。
4. 古代国家の形成（4）	2	貴族文化と摂関政治・国風文化、荘園と武士団の成長・院政と平氏の台頭について理解することができる。
5. 武家社会の形成（1）	3	鎌倉幕府の成立・執権政治の展開、元寇と御家人社会の変質・鎌倉文化、室町幕府の成立・倭寇と東アジアの交易について理解することができる。
6. 武家社会の形成（2）	2	下剋上の社会と戦国大名・室町文化について理解することができる。
--- 前学期末試験 ---		授業項目1～6について達成度を確認する。
7. 近世社会の形成（1）	3	ヨーロッパ人の渡来、織豊政権と桃山文化について理解することができる。
8. 近世社会の形成（2）	4	江戸幕府と諸藩、身分制度の確立・鎖国、幕府政治の進展・経済と産業の発達について理解することができる。
--- 後学期中間試験 ---	1	学問の興隆と元禄文化、幕藩体制の動揺と対外問題の発生について理解することができる。
9. 近世社会の形成（3）	2	新しい学問の形成と化政文化について理解することができる。
10. 近世社会の形成（4）	3	激変する世界と日本・現在の日本と世界について理解することができる。
11. 現代の世界と日本	2	授業項目2～7について達成度を確認する。
--- 後学期末試験 ---		試験において誤った部分を理解できる。
試験答案の返却・解説		
[教科書] 新選日本史B（東京書籍）		
[参考書・補助教材] 新選図説世界史（東京書籍）		
[成績評価の基準] 期末試験成績（70％）＋レポート（30％）－授業態度		
[本科（準学士課程）の学習教育目標との関連] 1-a, 4-b		
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]		
[JABEEとの関連]		